

日本農業史学会

個別報告

2022年研究報告会

- 9:30～9:35 会長あいさつ
- 第1報告:9:35～10:15 加藤 はるか (立正大学非常勤講師・大阪府立大学UCRC研究員)
中世後期イングランド湖水地方の農村景観と混合農業—トラウトベック村を例に
- 第2報告:10:15～10:55 伊丹 一浩 (茨城大学)
フランス・オート=ザルプ県における製酪組合普及の動きと性格変化
—19世紀中葉から20世紀初頭
- 第3報告:10:55～11:35 井上 将文 (北海道大学)
昭和戦前期における勇払原野開発と酪農経営
—北海道苫小牧町、安平村を中心に
- 第4報告:11:35～12:15 伊藤 淳史 (京都大学)
第3次・第4次PL480協定をめぐる日米交渉—1956～57年

オンライン開催



非会員の方で参加希望の方は下記学会事務局までお問い合わせください。関連情報をお伝えします。

シンポジウム 13:30～17:00

食の貧困をめぐる近現代史 —「食べられない」の変容と地域性

座長: 大瀧真俊 (名城大学)

- 第1報告 食の〈質〉的貧困と合理性: 樺太米食撤廃論から考える食の〈自由〉と食の〈正義〉
中山大将 (釧路公立大学)
- 第2報告 戦後アメリカ統治期沖縄の給食事業
小濱武 (沖縄国際大学)
- 第3報告 食をめぐる「平等」の変容: 帝国／国家のなかのコメを考える
原山浩介 (日本大学)

コメンテーター: 湯澤規子 (法政大学) ほか

総会 17:10～17:40

問合先: 日本農業史学会事務局
tel:075-753-6184 fax:075-753-6191

3月28日(月) オンライン開催

mail: office@agrarian-history.sakura.ne.jp